

令和6年度(第1回)

紫微斗数占術奥義認定試験

問題用紙

試験時間 150分

※筆記用具はボールペン又はシャープペンを使用すること。

※お手洗いの際は、座ったまま挙手してください。電子端末のお手洗いへの持ち込みは禁止です。

※試験終了の1時間前、30分前、10分前、1分前にお声掛けをします。

※終わられた方は座ったまま挙手してください。回答用紙を回収しに参ります。問題用紙はお持ち帰りください。

※回答用紙回収後は、私語や音は出さずに座っているか(スマホ操作等は可能)、ご退出も可能です。

【オンライン受験の方】

※指示が出てから、問題用紙及び回答用紙を袋から出して、ZOOMカメラに見える位置に置くこと。

※試験前に、該当テキスト3冊が見える位置に閉じてある状態で置いておくこと。

※お手洗いの際は、挙手ではなくZOOM端末にお声掛けをお願いします。

※試験終了後、直ちにペンを置き、回答用紙を写真撮影しメール又は公式ラインにて送信してください。

また、その作業は必ずZOOMカメラから見える位置で行ってください。

※試験終了時間前に終了した方は、ZOOM端末にお声掛けをお願いします。

※ルールを守られない場合は試験を無効とし、返金対応も不可ですのでご注意ください。

※対面試験とオンライン試験が別日の場合、最終試験より前に問題用紙の共有や掲載が発覚した場合、

双方不合格とします。尚、最終試験日は、試験監督官から試験前と試験後に発表があります。

全日本紫微斗数協会

- (1) 次の選択肢で正しい説明を選びなさい。 (4点)
- ① 中国が生み出した占術で、最も有名なのは『宿曜占星術』である。
 - ② 紫微斗数が創始された当時の中国の時代は、『秦』である。
 - ③ 紫微斗数とは、西暦1100年頃に創始された占術である。
 - ④ 紫微斗数が使用する暦では『閏年』がある。
 - ⑤ 紫微斗数が使用する暦は、『太陰太陽暦』である。
- (2) 次の選択肢で間違っている説明を選びなさい。 (4点)
- ① 紫微斗数は正確に鑑定するには『出生時間』が必ず必要になってくる占術である。
 - ② 日本の標準時間(国として統一されている時間)は、『京都府京都市』の時刻である。
 - ③ 紫微斗数において、運勢の切り替わりは『奇数』の時間で変わる。
 - ④ 出生時間が漠然とした情報でも、『寝相』と『つむじの位置』から推測することができる。
 - ⑤ 命盤における十二支は、左下角は全員が『寅』である。
- (3) 次の選択肢で間違っている説明を選びなさい。 (4点)
- ① 『六内宮』とは、自分の特徴を詳しく説明している6つの宮を指す。
 - ② 『命無星曜』とは命宮に主星が入らない状態をいう。
 - ③ 主星がない宮の反対(点対照)の宮は、必ず2つ主星が入る。
 - ④ 六内宮の中には、『勤務宮』や『遷移宮』等が含まれる。
 - ⑤ 『六外宮』とは、自分以外、つまり他者との関係性を色濃く映し出している6つの宮である。
- (4) 次の選択肢で間違っている説明を選びなさい。 (4点)
- ① 12宮の中で最も重要な宮は『命宮』だが、人生の後半は『身宮』も重要となってくる。
 - ② 『財禄宮』とは、金運全般や稼ぎ方をみるが、特に『お金の出口(出費)が多いかどうか』が顕著に分かる。
 - ③ 『勤務宮』は仕事運全般をみるが、特に『お勤め(組織)』に向いているかどうか顕著に分かる。
 - ④ 『田宅宮』は不動産運をみるだけでなく、『親や年長者との関係』が顕著に分かる。
 - ⑤ 『精神宮』とは、別名『自殺宮』ともいわれ、心の奥底の深層心理を顕著に表している。
- (5) 次の選択肢で間違っている説明を選びなさい。 (4点)
- ① 命宮が強い性格で、夫妻宮が優しい場合、純粹なのに自分でワルを選び損をしがちな特徴がある。
 - ② 『子供宮』は子供との関係性のみならず、『夜の営み』のよし悪し等も分かる。
 - ③ 六外宮の意味とは、相手の特徴のみならず、自分がその該当する人の前でなりやすい性格でもある。
 - ④ 『兄弟宮』は実の兄弟姉妹だけでなく、友達や同僚など『横』の関係とのよし悪しも分かる。
 - ⑤ 病気を見る際は、『命宮』と『疾病宮』と『父母宮』に入っている星から罹りやすい疾病をみる。

(6) 次の選択肢で正しい説明を選びなさい。 (4点)

- ① 輝度とは、星の長所が多く出るか短所が多く出るかを表し、入廟とは『廟』と『得』の2つを指している。
- ② 解厄4星とは、『紫微』『天同』『天梁』『天相』のことを指す。
- ③ 吉5星とは、『天機』『太陰』『武曲』『禄存』『太陽』のことを指す。
- ④ 凶5星とは、『貪狼』『巨門』『破軍』『廉貞』『七殺』のことを指す。
- ⑤ 『天相』の対宮には、必ず『七殺』が入る。

(7) 次の選択肢で間違っている説明を選びなさい。 (4点)

- ① 『紫微』の解厄の根本は自己管理能力で、凶副星の影響を強く受けない。
- ② 『紫微』は唯一『遷移宮』に入ると、他者の方が能力が上回ることを指し、吉凶相半ばとなる。
- ③ 若い頃の『紫微』は世間知らずな所があり、特に学生の頃は周りの意見に左右されやすい部分がある。
- ④ 『田宅宮』に『紫微』が入ると、豪邸・大邸宅・高層建築物等、外観も内観も高価高級な不動産と縁が深い。
- ⑤ 『紫微』唯一の弱点や短所は、プライドの高さである。

(8) 次の選択肢で間違っている説明を選びなさい。 (4点)

- ① 『太陽』と『太陰』は輝度によって吉にも凶にもなり得る、振れ幅の大きな主星である。
- ② 『太陽』は辰・巳・午宮、『太陰』は酉・戌・亥宮に入ると入廟となり、ともに長所を遺憾なく発揮できる。
- ③ 『太陽』が入廟していれば、凶副星と同宮しても大きな悪影響は受けず成功できるとされている。
- ④ 『太陰』が入廟していれば、凶副星と同宮しても大きな悪影響は受けず成功できるとされている。
- ⑤ 『太陽』と『太陰』が落陥であっても、吉副星のみが同宮していれば、困難の末に成功できるとされている。

(9) 次の選択肢で正しい説明を選びなさい。 (4点)

- ① 殺破狼とは、『廉貞』『貪狼』『七殺』の略称である。
- ② 『廉貞』が主星単独で入るのは、寅・申宮のみであり、いずれも輝度は旺である。
- ③ 『廉貞』は早口で、理路整然と正論を述べるタイプが多く、説得力があるが、トゲのある言葉となりやすい。
- ④ モテ星No.1は『貪狼』で、No.2が『廉貞』である。貪狼は細身で肢体が美しく、廉貞は健康的体型が多い。
- ⑤ 殺破狼とは、何人も例外なく三合宮の位置関係にあり、互いに影響を及ぼし合っている。

(10) 次の選択肢で間違っている説明を選びなさい。 (4点)

- ① 六吉星とは、『文昌』『文曲』『左輔』『右弼』『天魁』『天鉞』をいう。
- ② 六凶星とは、『擎羊』『陀羅』『火星』『鈴星』『地劫』『天空』をいう。
- ③ 乙級5星とは、『天馬』『天姚』『天刑』『天喜』『紅鸞』をいう。
- ④ 四化星とは、『化禄』『化権』『化科』『化忌』をいう。
- ⑤ 『化権』を通称「天使」と呼び、『化科』を通称「悪魔」と呼んでいる。

(11) 次の選択肢で間違っている説明を選びなさい。(4点)

- ① 『文昌』・『文曲』は学術・芸術の星であるが、『文昌』はその他に占術・宗教・神秘学における天分もある。
- ② 『左輔』・『右弼』は出会いの星で、同僚の他に目下・後輩・年下の者からの補佐・支援に恵まれる。
- ③ 『天魁』・『天鉞』を命宮に持つ人は、若い頃から考えがしっかりしており、年上・目上の人と歩調が合う。
- ④ 『禄存』は金持ち喧嘩せぬの解厄星で、感情の波が少なく淡々と生活して蓄財していく能力が高い。
- ⑤ 『左輔』・『右弼』は出会いの星が故に、『夫妻宮』にあると浮気や不倫を意味し、一転して大凶判断となる。

(12) 次の選択肢で間違っている説明を選びなさい。(4点)

- ① 六凶星の中でも、ヤンキー4星は外に対してエネルギーを使い、災いを引き起こしやすい。
- ② 『地劫』・『天空』は内向的で、外に対してはほぼ無害で、言いたいことが言えず心の中で葛藤が多い。
- ③ 『地劫』・『天空』は悩みやすく、若くして哲学や、宗教、心理学や占い、神秘思想に惹かれやすい。
- ④ 『擎羊』・『陀羅』の間の宮には、必ず『化禄』が入り、時計回りで『陀羅』→『化禄』→『擎羊』の並びとなる。
- ⑤ 『化権』の良さは責任感で、「がんばる」とか「一生懸命」という言葉が似あうが、権力闘争とも縁がある。

(13) 次の選択肢で間違っている説明を選びなさい。(4点)

- ① 『天馬』は落ち着きがなく、移動や変動をたくさん経験し、旅行やドライブで気分転換する人も多い。
- ② 『天姚』は軽めのノリで、異性を惹きつける魅力を持っている。美容やファッションに対する意識が高い。
- ③ 『天刑』は医療の星であり、医療従事者に進む人が多い。凶星と絡むと「借金」や「刑罰」の意味がある。
- ④ 『天喜』・『紅鸞』は婚姻・恋愛・慶賀を意味し、結婚や同棲、妊娠のタイミングを見るのに役立つ。
- ⑤ 『化科』の最大の凶要素は「執着」であり、神経質で正義感が周囲への批判になった時が最も危険である。

(14) 次の説明で、ア～エに入る正しい語句を、下の選択肢から選びなさい。(各2点×4)

『同宮』とは、2つ以上の星が同じ宮に入ることを指す。また、『対宮』とは反対(点対照)の位置を指す。

『三合宮』とは、命宮から見た際、(ア)と(イ)の位置を指す。『三方四正』とは、簡単に言えば、

『三合宮+(ウ)』を指す。また、隣宮に(エ)星によって挟まれた場合は、隣宮も関わってくる。

※アとイは順不同

① 親子	② 遷移宮	③ 財禄宮	④ 対宮
⑤ 冲照	⑥ 精神宮	⑦ 双子	⑧ 勤務宮

(15) 次の説明で、ア～エに入る正しい語句を、下の選択肢から選びなさい。 (各2点×4)

解厄4星の中でも、(ア)は輝度によってかなり落差のある主星である。(ア)が巳宮・亥宮に入ると、輝度がやや劣り、『(イ)多くて、(ウ)少なし』な人生となりやすい。

(エ)は輝度による変化は少ないが、凶副星と同宮した際は、吉作用は甚だ減じてやや孤独性になる。しかし、(エ)は財の星のため、財禄宮に入った際は、その豊富な財から見れば大した悪影響はない。

① 天相	② 天府	③ 天梁	④ 天同
⑤ 病	⑥ 功	⑦ 財	⑧ 勞

(16) 次の説明で、ア～エに入る正しい語句を、下の選択肢から選びなさい。 (各2点×4)

(ア)と(イ)は兄弟星であるが、(ア)は流動的な財を表し、(イ)は比較的動きの少ない、資産や貯蓄を表す。ともに解厄力の強い2星だが、(ウ)・(エ)だけは解厄する力はない。

逆に(ア)・(イ)の力を奪われ、財を集めようとしても集まらなかったり、集めた先から出ていったりといった状態となる。この場合、金銭管理を他の信頼できる人物に委ねることで回避し、貯蓄が可能である。

※ウとエは順不同

① 化忌	② 禄存	③ 化禄	④ 化科
⑤ 地劫	⑥ 火星	⑦ 鈴星	⑧ 天空

(17) 次の問いに要点をまとめて答えなさい。 (8点)

先天命盤において、命宮に『神経質な星』が入っており、遷移宮・勤務宮・財禄宮もどれも微妙である。

このお客様は営業職で人間関係に行き詰っており、今後どうすればいいか分からないと言っている。

一方で数字を見るのは苦ではなく、電卓を叩いて数値を出すのは好きで会計系の資格も持っている。

先天命盤において、このお客様のお悩みに最適なアドバイスをしなさい。

(18) 次の選択肢で**間違っている**説明を選びなさい。(4点)

- ① 『紫微+天府』は、財・地位・名声に恵まれる。しかし、孤独性がやや強く、精神的空虚感がある。
- ② 『紫微+貪狼』は、一生を通じて異性からの助力を期待することができ、社会的にも成功する。
- ③ 『紫微+武曲』は、気性が激しく傲慢で、虚栄心が強く、浪費家で平凡な生き方は好まない。
- ④ 『紫微+七殺』は、負けず嫌いで多情多感、独力で事業を興そうとする気概が強い。
- ⑤ 『紫微+天相』は、協調性を有した確かな統率力・実行力・管理能力を有するが、多少孤独性が強い。

(19) 次の選択肢で**間違っている**説明を選びなさい。(4点)

- ① 『天機』が同宮する主星は、太陰・巨門・天相・天梁である。
- ② 『天機+太陰』は、好奇心が強く、活動的で多趣味。一生を通じて広い意味での「移動」と縁が強い。
- ③ 『天機+太陰』は、中年期以降に大きく発展し、「複数」の意味も強く、仕事や恋愛もその傾向がある。
- ④ 『天機+太陰』は、文昌・文曲が同宮すると、男女共に色欲が強く、色情に関するトラブルや悩みを持つ。
- ⑤ 『天機+太陰』は、結果重視の仕事より、占いや芸術など精神性の強い仕事が適性である。

(20) 次の選択肢で**間違っている**説明を選びなさい。(4点)

- ① 『太陽』が同宮する主星は、太陰・巨門・天梁のみである。
- ② 『太陽+太陰』は、一生を通じて転職・転居など広い意味での移動・変動を幾度も経験する。
- ③ 『太陽+巨門』は、弁舌の才に優れ、才能豊かで自尊心が強く、負けず嫌いな勤勉家である。
- ④ 『太陽+天梁』は、家庭環境もよく、物質的にも精神的にも恵まれている。酉宮に入ると吉運はやや劣る。
- ⑤ 『太陽+巨門』は、寅宮と申宮に入るが、寅宮に入ると吉運が劣り、苦労が多くなる。

(21) 次の選択肢で**間違っている**説明を選びなさい。(4点)

- ① 『武曲』が同宮する主星は、天府・貪狼・七殺・破軍のみである。
- ② 『武曲+天府』は、ともに財の星であり、優れた商才を活かして金融界・財界において大きく活躍する。
- ③ 『武曲+貪狼』は、若い頃は多くの職業を経験し、異性からの援助等もあり、中年期以降大きく発展する。
- ④ 『武曲+七殺』は、周囲の状況を考えず、思ったことをすぐに言葉や行動に表し、周囲とトラブルが多い。
- ⑤ 『武曲+破軍』は、強烈な個性の持ち主で、気が強く、頑固。何事も衝動的に独断する。巳・亥宮に入る。

(22) 次の選択肢で**間違っている**説明を選びなさい。(4点)

- ① 『天同+太陰』は、文学的才能・芸術的才能・繊細な美的センス等に恵まれる。子宮が上格である。
- ② 『天同+巨門』は、巨門より解厄星である天同の性質が強く出る組み合わせである。
- ③ 『天同+天梁』は、非常に外交的で気前がよく、親分肌の気質を持ち、多くの友人に恵まれる。
- ④ 『天同+太陰』が夫妻宮に入ると、相思相愛だが同時に複数の相手と恋愛関係に陥る傾向が強い。
- ⑤ 『天同+巨門』は、中年期以降になれば財・不動産を得ることもでき、運勢的に安定する。

(23) 次の選択肢で**間違っている**説明を選びなさい。 (4点)

- ① 『廉貞+天府』は、家庭環境が良好で、親や兄弟姉妹など肉親との関係がよく親族から助力を多く得る。
- ② 『廉貞+貪狼』は、親族との縁が薄く、あまり仲も良くない。好奇心が旺盛で中年期以降発展する。
- ③ 『廉貞+天相』は、家庭環境が良好で、親族との仲も良い。廉貞の凶作用を解厄する力が非常に強い。
- ④ 『廉貞+七殺』は、謙虚で勤勉で努力家。優れた社交性を有し、人間関係に恵まれる。
- ⑤ 『廉貞+破軍』は、我が強くせっかち。偏屈で唯我独尊な行動が目立ち、周囲とのトラブルが多い。

(24) 次の選択肢で**間違っている**説明を選びなさい。 (4点)

- ① 吉主星+吉副星や凶主星+凶副星の組み合わせは例外を除いて星単体の意味の足し算である。
- ② 輝度が大切な吉主星は、『天機』・『太陽』・『太陰』・『天梁』で、輝度によって大きく意味が変わる。
- ③ 『天府』が凶副星と同宮すると一気に吉運が減じられ、孤独な性格傾向を示す。財も残らない。
- ④ 『太陽』と『太陰』の落陷は凶だが、吉副星の同宮で本来の力を取り戻し、苦労の後に成功・発展できる。
- ⑤ 『巨門』の辰宮と戌宮が最も人間関係的問題が発生し、六外宮に入れば、そこの人間関係は崩壊する。

(25) 次の選択肢で**間違っている**説明を選びなさい。 (4点)

- ① 『天機』は元々苦労性の意味があり、あまり輝度に関わらず凶副星と同宮すると苦労性はさらに強まる。
- ② 『天梁』が巳宮と亥宮に入ると苦労性で、特に落陷している亥宮は苦しく面倒見の良さが悪い結果を招く。
- ③ 凶5星の廟は吉副星と同宮していれば、能力の高さを活かして成功に導く。自由度の高い環境が良い。
- ④ 『紫微』や『天府』が吉副星と同宮すれば、一生を通じて高貴で圧倒的な人生を送ることができる。
- ⑤ 『武曲』が凶副星と同宮すると、強情だが優れた統率力を示し、どの分野でも傑出したリーダーとなる。

(26) 次の選択肢で**間違っている**説明を選びなさい。 (4点)

- ① 『文曲』が『禄存』と同宮すると、文化・芸術分野で才能を発揮して、財と名声を手にする。
- ② 『文昌』・『文曲』が『化忌』と同宮すると、芸術方面の才能はあるが、文章や契約上の過失に遭いやすい。
- ③ 『天魁』・『天鉞』が『天喜』・『紅鸞』と同宮すると異性運が格段に上がる。
- ④ 『天魁』・『天鉞』が『擎羊』・『陀羅』と同宮すると凶作用は消されるが、慢性病には罹りやすい。
- ⑤ 『禄存』が『地劫』・『天空』と同宮すると、禄存の力は奪われ、財が集まらなかったりすぐ出ていってしまう。

(27) 次の選択肢で**間違っている**説明を選びなさい。 (4点)

- ① 『禄存』が『化禄』や『天馬』と同宮した場合、この上ない吉運で一生遊んで暮らせる財運に恵まれる。
- ② 『擎羊』が丑・辰・未・戌宮で『鈴星』と同宮すると、鈴星の輝度に関わらず、発展・成功しやすくなる。
- ③ 『擎羊』・『陀羅』と『火星』・『鈴星』が同宮すれば、慢性病や食事制限を必要とするような病気に苦しむ。
- ④ 『天馬』が『火星』・『鈴星』と同宮すると、「火難の相」となり、火事や火傷に注意が必要である。
- ⑤ 『天喜』・『紅鸞』が『天姚』と同宮すると、酒食に溺れやすく異性交友が激しく乱れやすい。

(28) 次の説明で、ア～エに入る正しい語句を、下の選択肢から選びなさい。(各2点×4)

主星の組み合わせにおいて、様々な特徴があるが、その中でも中年期以降発展・成功する運勢がある。まず、『紫微+(ア)』は、若い頃は安定性を欠き、多くの職業経験をするが、中年期以降、それらの経験を活かして財と権力を手中にする。次に、『太陽+(イ)』は感情の起伏が激しく、運勢上の起伏も激しい。自主独立型で複数の事業に従事していく中で、中年期以降に成功し安定する。『天同+(ウ)』は、最初は障害・妨害などに遭いやすく、思い通りに進まないことが多いが、中年期以降になれば、財・不動産を得ることができ、運勢的にも安定する。『廉貞+(エ)』は、若いうちは苦労が多いが、働き者で責任感も強く、中年期以降には財・社会的地位ともに恵まれる。

- | | | | |
|------|------|------|------|
| ① 天府 | ② 天相 | ③ 天梁 | ④ 貪狼 |
| ⑤ 巨門 | ⑥ 太陰 | ⑦ 破軍 | ⑧ 七殺 |

(29) 次の説明で、ア～エに入る正しい語句を、下の選択肢から選びなさい。(各2点×4)

紫微斗数を学ぶ上で太陽と太陰を理解することはとても重要である。輝度によって大きく吉凶が変わる。(ア)は何物をも恐れず、凶副星の同宮も多少荒っぽさが出る程度で大きな悪影響は受けない。(イ)は凶副星に弱く、同宮するとかかなり悲観的で悩みやすい性格となる。但し、財の星のため金銭的にはそこまで落ち込まない。(ウ)は文昌・文曲と同宮すると、「水難の相」となり、幼い頃から水に対して恐怖心を持つことが多く、河川で足を吊ったり溺れたりしやすい傾向を持つ。『貪狼』は(エ)と同宮すると、貪狼が本来持っている行動力以上の行動力や才能を引き出し、一気に成功・発展する勝負強さが出る。但し、平凡な勤め仕事だと長所を出しづらく、悩みやすい。

- | | | | |
|---------|---------|----------|----------|
| ① 擎羊・陀羅 | ② 太陰 | ③ 太陽(落陷) | ④ 天相 |
| ⑤ 貪狼 | ⑥ 火星・鈴星 | ⑦ 破軍 | ⑧ 太陽(入廟) |

(30) 次の選択肢で間違っている説明を選びなさい。(4点)

- ① 後天運とは、先天運とは違い、大限運・太歳運・月運・日運・時運という一時的な運勢を指す。
- ② 『地盤』とは、先天運を見る際に使用する命盤である。
- ③ 『活盤』とは、大限運や太歳運等、その時の運勢の宮を身宮として12宮を振り直してみる運勢を指す。
- ④ 『天盤』とは、命宮干や年干など、どこかの十干から四化星を飛ばした状態の盤を指す。
- ⑤ 後天運において、先天運を考慮せずに後天運のみで判断することは、「木を見て森を見ず」に等しい。

- (31) 後天運を見る基本手順について、次の選択肢で**間違っている**説明を選びなさい。 (4点)
- ① 常に先天運の運勢を持って、大限運を送る。太歳運は12年に一度同じ宮だが、フェーズが全く異なる。
 - ② まず、先天命盤の12宮の強弱を見て、生まれ持った得意・不得意を把握する。
 - ③ 次に、該当大限運とその前後を見ておおまかな人生の流れを把握する。
 - ④ 最後に、太歳運を見て、1年以内の運勢を把握する。必要があれば月運なども確認する。
 - ⑤ 先天命盤:大限運:太歳運 = 1 : 2 : 3 として、2/3以上の吉凶でその意味が強くなる。
- (32) 次の選択肢で**間違っている**説明を選びなさい。 (4点)
- ① 幼少期や学生時代は命宮の他に、兄弟宮と父母宮が非常に重要である。
 - ② 命宮が殺破狼であったり、兄弟宮や父母宮が悪いと、幼少期は後天運とは関係なく過ごしづらい。
 - ③ 『子年斗君』とは、生月と生時で出る十二支が、子年の1月とし、年が変わると時計回りにずれていく。
 - ④ 日運や時運は、その月や日の該当宮が1日目及び子の刻であり、そこから時計回りで順次回っていく。
 - ⑤ 後天運において、星にははたらく期間があり、例えば、紫微・武曲・廉貞・破軍はその期間の前半である。
- (33) 後天運における星の象意で、次の選択肢で**間違っている**説明を選びなさい。 (4点)
- ① 『天府』が凶副星と同宮すると吉運は甚だ減じられ、苦労が多く孤独性で完全に大凶で財も残らない。
 - ② 『天同』の時期は平穏で人間関係は良好だが、少しめんどくささがりで、居心地が悪いと辞めやすい。
 - ③ 『天機』は条件が悪いと、唐突な変化、リストラや転職、生活環境の変化、苦労が多くなる。
 - ④ 『太陽』の時期は、活動力が高まり、野望や出世しやすい。利害関係も巧みで計算されている。
 - ⑤ 『武曲』の時期は、実行力が上がり商売人には大吉。ストレートな発言は口論の元で注意が必要。
- (34) 後天運における独自理論で、次の選択肢で**間違っている**説明を選びなさい。 (4点)
- ① 同棲や妊娠のタイミングを見る上で、『天喜』・『紅鸞』は非常に重要な星である。
 - ② 『夫妻宮』の主星がど真ん中のタイプで、『勤務宮』の主星が2番目のタイプであり、実際結婚しやすい。
 - ③ 離婚の時期にはいくつか条件があるが、先天条件と後天条件が凶要素を満たした時、最も危険である。
 - ④ 占術上の離婚は離婚届を出す時期ではなく、同棲解消等、夫婦生活が事実上破綻したタイミングである。
 - ⑤ 自分の意思に反する仕事の引越は、『天馬』が太歳勤務宮に入る年に起きやすい。
- (35) 飛星術について、次の選択肢で**間違っている**説明を選びなさい。 (4点)
- ① 『自化禄』とは、生きていく中で後天的に良い変化や吉兆をもたらす。
 - ② 『自化忌』とは、後天的に障害・失意・失業・失恋・訴訟など失う経験を多くする。
 - ③ 『流出忌』とは、対宮を原因として、該当宮における障害・失意・訴訟など失う経験を多くする。
 - ④ 『流出禄』とは、該当宮の吉兆のおかげで、対宮に良い変化や吉兆をもたらす。
 - ⑤ 流出においては原因と結果の法則が成り立ち、悩みであれば原因である流出先を改善する必要がある。

(36) 飛星術について、次の選択肢で間違っている説明を選びなさい。(4点)

- ① 『生年化忌』と『自化忌』が同宮するときは大凶となり、該当宮のテーマに関して次から次へと災難が続く。
- ② 先天命盤に関しては、自化四化・流出四化・命宮干四化の3つで留め、宮内の星と併せて吟味する。
- ③ 後天運における、『大限四化』や『太歳宮干四化』は、付いた星の期間のみでしかはたらかない。
- ④ 大限四化や太歳宮干四化は、三方四正に化禄や化忌が入ったとき、大きな目に見える作用が出る。
- ⑤ 『年干四化』は、くっついた星とは関係なく全期間(1年間)で作用し、三方四正のみ重要視する。

(37) 次の説明で、ア～エに入る正しい語句を、下の選択肢から選びなさい。(各2点×4)

命盤を判断する際、格局に当てはまるかどうかで大まかな運勢傾向が分かる。格局とは古来より、主星の配置や副星の配置で確定的な意味を持つ運勢傾向である。

六吉星においては、文昌と文曲が同宮する『文桂文華格』、左輔と右弼が同宮する『左右同宮格』、天魁と天鉞が命宮と遷移宮に入る(ア)がある。禄存及び化禄が絡む格局もいくつかある。例えば、この2星が命宮か身宮か財禄宮に同宮することを、(イ)という。

子宮か午宮が命宮で、巨門が入ると(ウ)となり、困難辛苦を経た後に社会的な地位が急激に高まる。化禄か化権、六吉星が加会すれば素晴らしく、建築系・税理士・講師・メディア・弁護士等で活躍できる。午宮に命宮があり、太陽が入ると(エ)となり、組織の中で早くから大きな権力を握る。幼少期はスポーツと親しみやすく、文武両道で大変人気になり、そのまま20代まで勢いが続くが、中年期以降は過去の栄光にすがりやすく、やや衰える。30代半ばまでに大半を成し遂げる意識を持つと良い。

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| ① 日照雷門格 | ② 明珠出海格 | ③ 石中隠玉格 | ④ 金燦光輝格 |
| ⑤ 双禄朝垣格 | ⑥ 坐貴向貴格 | ⑦ 極響離明格 | ⑧ 禄合鴛鴦格 |

(38) 下記先天命盤を見て先天的な性格・特徴で分かることを自由に書きなさい。尚、飛星術は考慮しなくて良い。

天梁 得 天鉞			七殺 旺 左輔 紅鸞						廉貞 廟 右弼 鈴星 陷		
兄弟宮	丁	巳	命宮	戌	午	父母宮	己	未	精神宮	庚	申
紫微 得 天相 得			姓名：山田花子 性別：女 年齢：31歳 生年干支：癸酉 五行局：火六局 陰陽：陰女						地劫		
夫妻宮	丙	辰							田宅宮	辛	酉
天機 旺 巨門 廟 - 化權 天魁 天姚									破軍 旺 - 化祿		
子供宮	乙	卯							勤務宮	壬	戌
貪狼 平 - 化忌 文曲 平			太陽 不 太陰 廟 - 化科 擎羊 廟 火星 得 天空			武曲 旺 天府 廟 文昌 得 祿存 天喜			天同 廟 陀羅 陷 天馬 天刑		
財祿宮・身宮	甲	寅	疾病宮	乙	丑	遷移宮	甲	子	後輩宮	癸	亥

(8点)

(39) 下記大限勤務宮をみて、前半5年と後半5年でどのような特徴や変化が出るか説明しなさい。

(8点)

尚、他宮の主星の配置を含めた記載でも良い。飛星術は考慮しなくて良い。

廉貞 平 - 大限化忌 天相 廟 文昌 陷 - 大限化科 祿存		
大限勤務宮	庚	午

(40) 当協会が勧める鑑定を進め方や鑑定順番について自由に書きなさい。

(8点)